

# 朝日庄内プロジェクト

～ 地域と連携した森林の保全管理を推進 ～

## 高校生の森林ボランティア活動を指導

五月晴れの好天に恵まれた5月28日に、酒田市の北港緑地公園周辺（宮海国有林）のクロマツ林において実施された酒田北高等学校の全校生徒（222名）による森林ボランティア活動の指導を行いました。

この森林ボランティア活動は、酒田北高等学校の生徒会ボランティアの一環として毎年実施しているもので、当センターや庄内森林管理署が参加している「出羽庄内公益の森づくりを考える会」でも支援を行うことにしています。

森林整備作業は各学年毎に分散し、それぞれ下刈り作業や枝払い作業を実施しましたが、当センターでは1年生の下刈り作業の指導を担当しました。

酒田北高等学校は共学制なので男子と女子生徒が半々程の構成となっていることから、元気な男子生徒には鎌の大振りを注意したり、なれない手付きで鎌を振るう女子生徒には草の刈り方をレクチャーしたりと、指導もなかなか大変でした。

好天で気温も高かったことから途中で休憩を入れ、約1時間程度の下刈り作業で緑地公園周辺のクロマツ林もサッパリとした姿に変化しました。

作業終了後は機材の手入れとして使用した鎌の刃を研磨したり、松ヤニのついた手鋸をスプレーで清掃することについても指導を行いました。

最後に生徒達に指導を実施した団体を代表して、当センターの庄司指導官が講評を述べて当日の森林ボランティア活動は終了となりました。

当ふれあいセンターでは、朝日庄内プロジェクトの一環として庄内海岸林で開催される森林ボランティア活動の支援を実施しており、今年度も幼稚園から一般市民団体までの幅広い層に対して森林整備を指導することとしています。

今後も安全を第一に参加者が満足できる様な活動となるためにも、指導方法等を研鑽し地域の森林保全活動に貢献したいと考えています。



酒田北高等学校の生徒に下刈り鎌の使用方法をレクチャーしています。